

実行委員会立ちあげを申し合わせ

7月26日、山口県労連会館でルネサス リストラ「合理化」対策実行委員会がおこなわれました。実行委員会には、県労連・地域労連役員や共産党県議・市議など18名が参加しました。

呼びかけ団体を代表してあいさつした県労連・河済盛正事務局長は、下関・光・岩国などにつづく大企業のリストラ「合理化」は労働者の雇用・生活、地域経済に大打撃をあたえるもの。連携してリストラ「合理化」に反対しましょうと述べました。

つづいて県労連・高根孝昭副議長が実行委員会立ちあげを提案。山口工場（宇部）・柳井工場の売却・閉鎖などのリストラ「合理化」の概要や実行委員会の申し合わせ、工場従業員にむけたアンケート・宣伝、県・宇部市・柳井市への申し入れなど、今後の取り組みについて提案しました。

討論では光野恵美子市議が、柳井市では特別委員会を設置。市議会もルネサスに「事業継続」「雇用確保」について要請を準備していると。また、山田伸幸山陽小野田市議が、ルネサスのホームページのアクセスがものすごく増えた。労働者の不安が大きくなっていることが報告されました。そして、実行委員会として「従業員の雇用・生活」「地域経済」をまもること、従業員にむけてのアンケートや運動・情報の共有はかるニュースの発行、実行委員会役員などについて確認しました。



8月3日に工場門前でアンケート配布

第1回実行委員会では、会社が10月31日を退職日として9月18日から26日にかけて早期退職（希望退職）募集を計画。8月上旬から個人面談による退職強要がはじまることから、早急にアンケート・宣伝を実施することを確認しました。

アンケートは、A3版2つ折り。工場売却・閉鎖の撤回を求め、退職強要をハネ返す4カ条や一方的な雇止め（解雇）にNOをとる宣伝、雇用形態や要望・要求等について回答してもらう内容です。できるだけ多くの労働者から回答が寄せられるよう工夫するとともに、工場労働者が一緒にたたかえるように配慮することとしました。

アンケート配布・宣伝は、山口工場（宇部）・柳井工場ともに日勤終了時刻（午後5時15分）に併せて8月3日（金）午後5時から6時までとしました。時間の許す皆さん、可能な皆さんの参加をよびかけます。工場労働者に「皆さんが立ち上がれば応援・支援をサポートします」との元気なメッセージを届けましょう。

裏側に実行委員会の申し合わせを掲載しています。

ルネサス リストラ「合理化」対策実行委員会 申し合わせ

名 称

この会は、「ルネサス リストラ「合理化」対策実行委員会」、略称「ルネサス実行委員会」とします。

目 的

この会は、ルネサスセミコンダクタ山口工場、柳井工場の売却・閉鎖に反対し、従業員の雇用と生活をまもることを目的とします。

この会は、地域経済をまもるためにルネサス山口工場、柳井工場の継続を求めていくことを目的とします。

構 成

この会は、目的に賛同する労働組合、諸団体や個人によって構成します。

運 営

この会は、実行委員会役員会で運営します。会の取りくみは、全会一致ですすめます。

役 員

この会の役員は、会長、副会長、事務局長、幹事で構成します。

財 政

この会の経費は、分担金及び支援カンパで運営します。

分担金は1口1,000円とし、口数は任意とします。

事務局

この会の事務局（事務所）は、山口県労連会館におきます。

（〒753-0074 山口市中央4丁目3-3 ）

TEL 083-932-0465

メール y-ken-rouren@gray.plala.or.jp